



超我の奉仕

2005~2006年度
国際ロータリーのテーマ
超我の奉仕

2005~2006年度
カール・ヴィルヘルム・スンハマー

Weekly Report

▶ 第1261回例会

～世界理解月間～

2006年2月16日(木) 曜 第29回

司 会	(岩田修司会場副委員長)
体 操	ストレッチング(佐藤一郎会場委員)
齊 唱	「それでこそロータリー」
ゲストスピーカー	R財団国際親善文化研修奨学生 小川博子さん
ゲス ト	ハンガー・フリー・ワールド
理事長	河合 政実氏
	ウガンダ支部担当 吉田千代子様
	(内田久利親睦活動副委員長)

▶ 副会長挨拶

岩田吉廣副会長

本日は会長がお休みのため、私が代わりに挨拶を致します。以前香港に行ったときに、五金商の取引をしました。金、銀、銅、鉄、錫の五つの金属を総称して五金といいます。鉄に関しては古くから船舶や建物、農機具、刀などがあり、備前や備中、中部地区では関などで昔から刃物が作られていました。日本武尊が昔、伊吹山で大きなイノシシに怪我を負わされ、大和まで帰ることが出来ず三重の能褒野(のぼの)でなくなられたという話がありますが、実際は鉄鉱山の利権を持った、地方豪族との争いに敗れたというのが本当のところのようです。



金属の中には、タンクステンやニッケル、クロムなど値が数十倍になっている金属もあれば、金はグラムあたり7000円から1000円を割る所まで急速に値下がりしました。これはアメリカの金本位制度が崩れたのと同時に、ソ連の大放出などが原因です。それが近年2200円ぐらいまでに値を戻しております。これは産出量が少なくなった事と、中国インドの経済発展などが主な理由で、特にインドでは結婚式などにたくさん使われているようです。

金の取引単位が日本ではグラムですが、国際的にはオンスが使われています。オンスの元は3世紀頃、遠くイスタンブールの西方300km位の所にトロイという国があり、非常に繁栄しておりました。当時は地中海や黒海へ行く要衝に位置し、通路権を持っており、多くの富を手にしたと言います。そしてその当時使われていたトロイオンスが、繁栄の名残として現在まで使われています。

トルコのイスタンブールは現在でも黒海へ抜けるボスポラス海峡という海峡があります。通行の安全という名目で通行料を徴収しています。このイスタンブールの夜景は大変美しいものです。夜になり、インターコンチネンタルホテルの最上階のレストランから見る夜景はとてもすばらしいものでした。皆様もトルコへ行かれたらそこからの夜景を見ることをお勧めします。

▶ 出席報告

天野正明副幹事

会員73名 出席49名 (出席計算人数55名)

出席率65.45%

2月 9日 は補填により 90.91%
2月 2日 は補填により 98.18%
1月 26日 は補填により 98.18%

創立: 1980年(昭和55年)1月10日

会長: 守谷 巍樹

幹事: 鈴木 幹雄

会報委員長: 長坂 邦雄

例会日: 毎週木曜日 PM12:30~
会場: ヒルトン名古屋
事務局: 460-0008

名古屋市中区栄1丁目3-3

ヒルトン名古屋910号

T E L: 052-211-3803

F A X: 052-211-2623

M A I L: 2760nagoya@mizuho-rc.jp

U R L: http://www.mizuho-rc.jp/

▶ 幹事報告

鈴木幹雄幹事

・次週2月23日(木)は、2月28日(火)4RC合同例会のため振替休会です。2月28日(火)4RC合同例会は、名南RC主催にて名古屋マリオットアソシアホテル16階「タワーズボールルーム」で18時から開催します。発表のある委員会は必ずご出席ください。

▶ 臨時例会変更のお知らせ

名古屋南	3/1(水)			3/22(水)
名古屋北			3/17(金)※	
名古屋東				3/20(月)※
名古屋守山				3/22(水)※
名古屋みなど			3/17(金)	
名古屋東南	3/1(水)			
名古屋中	2/27(月)			
名古屋和合			3/15(水)	3/22(水)※
名古屋名東		3/7(火)		
名古屋名北	3/1(水)			
名古屋大須		3/9(木)※		
名古屋栄				3/20(月)※
名古屋名南	2/28(火)◇			3/21(火)※
名古屋西南		3/9(木)		
名古屋錦				3/21(火)※
名古屋東山				3/23(木)
名古屋空港				3/20(月)※
西春日井				3/21(火)※
豊山城北	2/28(火)			3/21(火)※

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。

◇はサイン受付時間が17:30~18:30となります。

▶ ニコボックス

宇佐美真貴夫ニコボックス委員

・2月18日は私の誕生日です。山本五十六になりました。

宗宮 信賢君

・今月は、結婚記念日です。記念日のカードありがとうございます。

八木沢幹夫君

・2月18日は妻の誕生日です。

近藤 雄亮君

・野崎さんに声をかけられました。

岩根 敬泰君

・ハンガー・フリー・ワールドの河合理事長と吉田さんをお迎えして。

本多 清治君 大島 浩嗣君

・ハンガー・フリー・ワールドの河合理事長、吉田さん、ありがとうございます。

田中 隆義君

・1)ハンガー・フリー・ワールドの河合理事長、吉田千代子さんお2

人をお迎えして。2)先日、田中政雄さんのご好意で、日本対ドイツのアイスホッケーを観戦させて頂きました。選手も私も大変エキサイトしました。

野崎 洋二君

・ハンガー・フリー・ワールド理事長河合政実さん、吉田さんを例会にお迎えして。昨日は歓迎会ご出席いただきありがとうございました。田中政雄さん、先日のアイスホッケーの試合、ありがとうございました。

稻葉 徹君

・ローターアクトの地区大会に多数参加申込みいただきありがとうございました。

長瀬憲八郎君

・明日より旅行に行きます。無事に帰れます様に。

森 恒夫君

・欠席が続きました。

小串 和夫君

・おひはぎに会いました。

内田 久利君

・よろしく

山田 鎮浩君

・野崎さんの顔を見ましたので。

岩田 吉廣君

・本日ロータリーバッジを忘れました。

西本 哲君

・田中政雄さん、アイスホッケー感動。有難うございました。

松岡 道弘君

・田中さん、アイスホッケーのゲーム楽しく見ることができました。

堀 憲治君

・アイスホッケー日本VSドイツの観戦で、田中さんに大変お世話になりました。

渡辺喜代彦君

・田中政雄さん、先日のアイスホッケー、息子が感動しておりました。ありがとうございました。

船渡 昭人君

・田中政雄さん、先日のアイスホッケー、息子が感動しておりました。ありがとうございました。

渡辺喜代彦君

▶ 委員会・同好会報告

▶ 國際奉仕委員会:加納 裕委員長

来月の台北延平RC29周年記念例会への参加人数ですが、メンバーが11名、ゲストが2名の合計13名で訪問することになりました。案内につきましては本日メールボックスに入れておきました。内容についてご質問がありましたら、委員会までよろしくお願ひします。

▶ 親睦活動委員会:伊藤 豪委員長

本日メールボックスに、3月23日(木)I.D.Mのご案内と、4月23日(日)春の家族会のご案内が入れてあります。特に春の家族会につきましては、都をどりを指定席で見に行くことで早めにご案内をお出ししました。会費も大変お値打ちにしてありますので、奮ってご参加下さいますようお願いいたします。

▶ ハンガーフリーワールドより感謝状

▶ ハンガーフリー・ワールド:河合政実理事長

ハンガーフリー・ワールド理事長の河合でございます。日頃、瑞穂RCの皆様には大変なご協力・ご支援を賜りまして心より感謝申し上げます。

さて、我々の活動は世界の飢餓をなくすと言うことで、飢餓貧困撲滅のためにいろいろな国で活動しております。飢餓貧困の撲滅と申しますと、まず一番大事なのは命を救うことです。次に国の根幹を成す教育です。これが非常に大事だと思います。そんな中で瑞穂RCさんからは井戸と学校という、命そして教育ということについて大変なご尽力をいただいております。

また、皆さんの活動は大変な民間外交につながっていると思思います。是非皆さんのご支援の結果を皆さん自身の目で見て頂きたいと思います。ウガンダという、アフリカの遠い国で、危険がつきまとつて非常に危ない所じゃないかという風な印象もあるかと思いますが、実はウガンダは1年を通して30度を超えることがなく、夏も26~7度です。新たに航空会社が、中部国際空港からドバイ経由でウガンダへ就航することになっております。

最後に、これまでのご功績に対して感謝状をお渡ししたいと思います。



▶ 卓話

R財団国際親善文化研修奨学生 小川博子様

▶ 「R財団国際親善文化研修奨学生帰国報告」

皆様こんにちは。第2760地区からロータリー財団国際親善奨学生として、アメリカ合衆国に3ヶ月派遣して頂きました小川博子です。本日は、瑞穂ロータリークラブの例会で、帰国報告の場を作つて頂きありがとうございます。私は、2005年9月11日から12月2日まで、ノースカロライナ州シャーロットにある ELS Language Centers/Charlotte でホームステイをしながら語学研修をさせて頂きました。



さて、まず今回の留学での初めてのハブニングと驚きは、アメリカに着く前、アラスカ上空を飛んでいるときにオーロラを見ることが出来たのです。そして次の驚きは、乗り継ぎのために着陸したシカゴの空港でありました。あたりにアジア人がほとんど見られなかったのです。2年前に滞在していたサンフランシスコではアジア人が多かったので、同じ国内でも都市の性格が全く違う、アメリカという国の大さを感じさせられました。

ホストファミリーの家は隣の州であるサウスカロライナにありました。学校から家までは車で1時間ほどかかるので、普段は毎朝6時45分に家を出て、学校に向かうといった生活をしていました。ホストファミリーはホストファーザーのグレッグさんと、ホストマザーのローズさん、高校生の長女アンバーと中学生の次女シャノンの4人家族でした。語学学校では、12段階中上から3番目のクラスに入学することができました。私が入っていたマスタークラスでは、教科書を使わず、例えばNewsweekをあらかじめ家で読んできて、その中のトピックについてクラスの中でディスカッションする様な、英語を実践的に使う練習をしていました。午後からのライティングのクラスでは、英語でレポートを書く練習のため、12枚のリサーチペーパーを書きました。参考文献も英語で読まなければならず、かなりの努力が必要でした。締め切り前には徹夜をしながら書き上げたりサーチペーパーが、先生に評価してもらえたときには、とても達成感がありました。学校には3ヶ月間、無遅刻無欠席で通い、全カリキュラムを修了して卒業証書をいただくことが出来ました。

今回のアメリカ滞在でも、トルコに3ヶ月滞在していたときと同じく、大切だと感じたのは自分とは違うものに接するときの姿勢です。自分との違いに目を向けるよりも、共通点に目を向けることが、異文化理解にはより重要である、ということを前回お話ししました。その事をモットーにしていたことで、以前よりも違いというものを楽しめるようになったと思います。自分とは違うものに出会ったときにこそ、自分自身について振り返ることが出来、今まで気づかなかつた新しい自分を発見することが出来るのだと感じました。だからこそ、これからも違うものに出会うことは新しいことを学ぶチャンスだと捉えて、好奇心を忘れずいろいろなことにどんどん挑戦していくこうと思います。

1年の半分を海外で過ごした昨年は、新しい発見、新しい出会いに恵まれた年でした。この様に特別で貴重な機会を与えてくださったロータリークラブの方々を始め、離れてみて改めて大切を感じた家族、私を支えてくれている人達に感謝の気持ちでいっぱいです。皆様には改めて御礼申し上げます。本当にどうもありがとうございました。

▶ 今週卓話

2月28日(火)

4RC合同例会: 18:00より

於: 名古屋マリオットアソシアホテル 16階

「タワーズボールルーム」

▶ 次週予定

3月2日(木)

講 師: 名古屋熱田ローターアクトクラブ会長 南 興助君
テ マ: 「ローターアクトクラブについて」

▶ 次々週行事

3月9日(木)

講 師: 愛知県警察本部 警務部警務課
街頭犯罪対策室室長 警部 野村 喜之氏
テ マ: 「愛知県における自動車盜難の実態」